

月平均 500mb 天気図. 1987 年 11 月

(破線は平年からの偏差. 単位m)

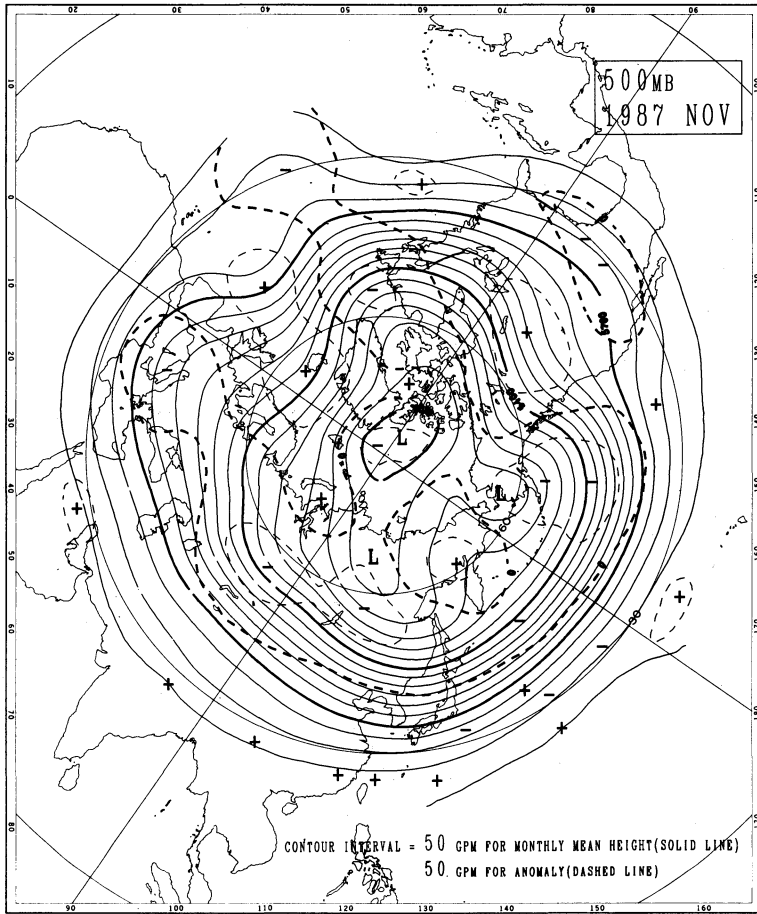


表 1 昭和62年 11月の気候表

地点名	気温 ℃	偏差 ℃	DT/SD	降水量 ミリ	比率 %	降水 階級	地点名	気温 ℃	偏差 ℃	DT/SD	降水量 ミリ	比率 %	降水 階級
パリ	6.6	-0.2	-0.1	46	92	3	ニオロドサヘル	29.2	1.8	2.6	0	0	—
ベルリン	6.2	1.5	1.0	71	161	5	アジスアベバ	14.7	-0.2	-0.3	0	0	—
ローマ	13.3	0.6	0.5	159	141	3	プレトリア	21.6	1.5	1.3	169	134	4
アテネ	—	—	—	—	—	—	バンクーバー	—	—	—	—	—	—
モスクワ	-3.6	-1.7	-0.7	51	142	—	ニューオリンズ	16.4	1.1	0.7	74	87	3
オデッサ	6.0	0.6	0.3	58	135	5	セントルイス	9.4	2.7	1.4	104	160	5
ニューデリー	20.9	0.7	0.7	0	0	4	サンフランシスコ	13.9	1.2	1.0	42	105	3
カルカッタ	24.8	0.8	1.1	43	123	4	ニューヨーク	8.9	0.3	0.2	65	71	2
ボンベイ	29.2	1.7	2.1	0	0	2	マナウス	28.0	0.7	1.0	119	72	2
ホンコン	21.8	0.6	0.6	67	146	5	リオデジャネイロ	24.3	1.2	1.3	50	52	1
チャンチュン	-4.8	-0.7	-0.4	11	85	3	ロサリオ	22.8	2.9	2.4	97	85	3
ベキン	3.9	-0.1	-0.1	35	438	6	ホノルル	26.0	1.6	2.3	24	44	2
シャンハイ	—	—	—	—	—	—	タヒチ	26.5	0.9	1.3	108	65	3
バンコク	28.5	1.8	2.0	111	195	—	ダーウィン	30.0	0.8	1.3	104	67	2
マニラ	28.0	1.6	2.7	107	83	3	キャンベラ	16.4	1.2	1.2	55	87	3

11月の世界の天候

① ソ連の低温

シベリアでトラフが発達し、ソ連のほぼ全域で平年より 2°C 以上低くなった。特にヨーロッパロシア北東部・中央シベリア・ベーリング海付近で平年より 6°C 以上低い著しい低温となった。

② アジア南部の高温

東南アジアから南アジアにかけての広い範囲では、ビエンチャン 27.0°C (平年差 $+2.6^{\circ}\text{C}$)など依然として高温が続いている。また南西諸島から台湾にかけても台北 22.6°C ($+2.1^{\circ}\text{C}$)など10月に引き続き高温となった。更に先月低温であった中近東もイランのシーラーズ 14.2°C ($+2.1^{\circ}\text{C}$)などの高温となった。

③ アフリカ西部の高温

アフリカ西部では高温と少雨傾向が続いている。特に高温は7月から継続している。

④ アフリカ南部の高温

アフリカ南部ではハラレ 22.9°C ($+2.1^{\circ}\text{C}$)などの高温となった。一方エチオピア北部では干ばつのため食糧不足が深刻化しつつある。

⑤ 北米中部の多雨

アメリカではリトルロック 259 mm (平年比2.5倍)など中部を中心に多雨で高温傾向であった。中旬にアメリカ東部で例年より1か月以上早く大雪が降り、積雪はワシントンで 40 cm 近く、ボストンで 30 cm で11月としては第1位の記録となった。

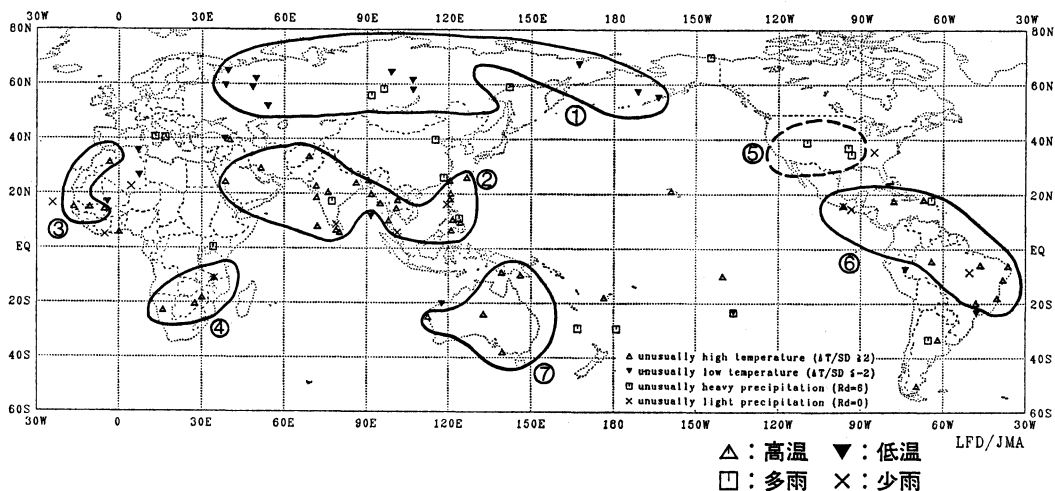
⑥ 中南米の高温

メキシコから西インド諸島にかけては7月以来の高温が続いている。またブラジルも先月に引き続き高温となり、特にアラカジュ 28.0°C ($+2.2^{\circ}\text{C}$)など東部で顕著であった。アルゼンチンは高温多雨で農作物の生育に好適な天候であった。

⑦ オーストラリアの高温

オーストラリアはほぼ全域で高温になった。一方トラック諸島は台風22号により家屋の6割が損壊するなどの大きな被害を受けた。この台風22号はルソン島南部をも直撃し、死者・行方不明約800人、総額約35億円にのぼる被害をもたらした。

(気象庁長期予報課 小泉 耕)



1987年11月の世界の異常天候分布図

図中の番号は、本文中の番号と対応している。

1987年11月の気候表の説明

降水階級は、1931—1960年のデータに基づく五分位置。0は最小値より小さい場合、6は最大値より大きい場合。